

2020（令和2）年度 教育行政点検評価資料

《2019（平成31）年度 取組事業概要》

伊賀市教育委員会

教育総務課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	1
学校教育課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	2
給食センター	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	4
生涯学習課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	5
公民館	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	8
教育集会所	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	12
文化財課	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	18
上野図書館及び分館図書室	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	19

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
教育総務課	子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	長田・新居小学校再編計画 新居小学校既設校舎改築事業	○令和2年統合に向け、児童の交流会を行うとともに、スクールバス対応の調整、バス通学体験会等を行い、子どもたちが無理なく統合できる環境づくりを行った。 ○統合校建設事業として、屋内運動場改造工事、運動場整備工事等を行った。	進捗率100%	進捗率100%	198,486	完了	令和2年4月に統合が完了した。
				阿山地区小学校再編計画	玉滝小学校と阿山小学校の統合を推進するため、玉瀧地区及び玉滝小学校PTAとの協議を行った。	進捗率85%	進捗率90%	—	継続	該当地区で、令和3年度での統合合意が得られたため、具体的な学習環境等を準備する。
				上野南部地区小学校再編計画	依那古小学校・神戸小学校・比自岐小学校の統合について、神戸小学校PTA、神戸地区、比自岐地区等との協議を行った。	進捗率10%	進捗率30%	—	継続	3小学校の統合に向け協議を継続したい。今後の協議内容によっては、依那古・比自岐両校の先行統合も視野に入れる。
		2	学校（園）施設の整備充実	上野西小学校 屋内運動場改修事業	屋根・天井トラス再塗装、床張替え、トイレ改修などの内容で、大規模改造事業を実施した。	進捗率100%	進捗率100%	130,220	完了	令和2年度に事業を完了した。
				新小学校給食センター建設事業	令和2年4月に、「いがっこ給食センター元気」が完成した。	進捗率100%	進捗率100%	1,313,896	完了	令和2年度に事業を完了した。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり 創造的で活力ある園づくりの推進	地域とともに学校マニフェスト推進事業	○各小中学校(園)に学校評議員・学校評価委員を配置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。 ○学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。 ○学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。	設置者による評価値 小中学校 77.8点 幼稚園 80.0点	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点	14,367	継続	取組に対する一定の評価は得ているものの、今後さらに各学校(園)から情報を積極的に発信し、保護者や地域の理解と協力を求める必要がある。		
				○学力向上推進事業、人権同和教育推進事業、キャリア教育推進事業の三事業を実施し、各小中学校(園)の校(園)長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:90%	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:90%					
		2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	○各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。 ○伊賀市学力向上プロジェクト委員会を実施し、課題の分析、解決に向けた取り組みへの提言等をおこなうとともに、学力向上改善研修会を開催した。 ○中学校1年生で標準学力検査を実施した。 ○学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。 ○「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、小学校1年生、中学校1年生に配付した。 ○全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。	標準学力検査における市内小中学校の平均点の全国比中学校:95.2	標準学力検査における市内小中学校の平均点の全国比中学校:100	5,879	継続	学力の向上は、児童生徒、保護者、地域の願いであり、最重要課題の1つである。今後も課題分析と、その解決に向け、学校、教育委員会が取組を進める。		
				教職員研究研修経費	○部会別教育研究活動の充実を図った。 ○職場教育研究交流会、夏季教育講演会を開催した。 ○研究指定校研究推進事業の充実を図った。(中瀬小学校、大山田中学校、府中小学校、成和東小学校)	研修講座への参加人数 参加者数:1,662人					研修講座への参加人数 参加者数:1,500人
		3	人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	人権同和教育推進事業	○伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。 ○幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。	人権教育カリキュラムの見直しを「十分図れた」「図れた」学校数:31校	人権教育カリキュラムの見直しを「十分図れた」「図れた」学校数:31校	3,350	継続	児童生徒が関わる人権侵害(差別事象)の現状は、障がいにかかわる差別発言や外国人に対する発言等、依然として多い。今後も地域や家庭、様々な関係機関と連携しながら、取組を進めていく必要がある。	
		24	人権・同和教育の推進			学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数: 5回以上	学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数: 5回以上				

学校教育課・給食センター

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	4	キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	○「自分発見！中学生・地域ふれあい事業」において、全10中学校で職場体験活動を実施した。 ○各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。 ○「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、児童生徒の社会的・職業的自立に向けた指導のあり方等について、研修を深めた。	全国学力・学習状況調査アンケート 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合:77%	全国学力・学習状況調査アンケート 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合:80%	2,427	継続	職場体験のみならず、児童生徒が自らのキャリアビジョンを持てるようキャリア教育を充実させていく。
		7	生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成	生徒指導推進事業	○各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。 ○スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援を行った。 ○児童生徒一人一人についての理解と対応方法、学級集団の状態と学級経営の方針について把握するため、全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を2回実施した。 ○全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制づくりに努めた。	小中学校における問題行動発生件数:34件	小中学校における問題行動発生件数:40件	4,370	継続	関係機関との連携を強化しながら、問題行動への対応にとどまらず、未然防止に向けた取組を進める。
		23	豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成							
		8	不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進	不登校児童生徒支援事業	○伊賀市教育支援センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。 ○不登校の実態把握に努めるとともに、教育相談に関わる教職員研修を実施した。	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:87.5%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:90%	7,260	継続	関係機関と連携しながら、きめ細かい取組を進めるとともに、教育相談の充実を図る。
		28	教育相談の実施							
		29	不登校児童生徒の支援							
10	子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	○教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付・「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保した。	登下校中の小中学生の交通事故発生件数前年度差:-5件	伊賀市内の小中学生の交通事故発生件数前年度差:-5件	23,640	継続	児童生徒の安全の確保に向け、今後も関係機関及び地域の協力を得ながら取組を進めていく。		
11・26	特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	○教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制をつくった。 ○児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。	教育学習支援員・特別支援教育支援員配置:44人	教育支援員・特別支援教育支援員配置:44人	56,438	継続	依然として支援を必要としている児童生徒の割合は増加している。ニーズに応じた支援が今後増々必要である。		

学校教育課・給食センター

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	13	外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	○初期適応指導教室(チャレンジ教室)を運営した。 ○「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。 ○外国人児童生徒のための漢字検定を実施した。 ○日本語指導者研修会を開催した。 ○外国人児童生徒日本語指導補助員を配置した。 ○日本語指導コーディネーターを派遣した。 ○教育相談、保護者への説明の際の通訳派遣、翻訳支援を実施した。	進路ガイダンス外国人小中学生・保護者参加者数: 201人 ※評価シート 高校進学率: 76.9%	進路ガイダンス外国人小中学生・保護者参加者数: 120人 ※評価シート 高校進学率: 85%	6,640	継続	外国にルーツを持つ児童生徒の割合は増加している。進路保障を見据えた様々な取組が今後重要だと考えている。
		14	外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	○外国語活動指導助手(JETプログラム事業)を各中学校へ派遣した。 ○外国語活動指導助手(直接任用)を各小学校へ派遣した。 ○小学校外国語指導者研修会を実施した。	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.7日 ・小学校1クラスあたりの外国語活動指導助手派遣日数:24日(5・6年)、8日(3・4年)	・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.2日 ・小学校1クラスあたりの外国語活動指導助手派遣日数:24日(5・6年)、8日(3・4年)	20,261	継続	小学校5・6年生の外国語科の実施、中学校の英語教育の充実に向けた課題など、事業のニーズはさらに高まっていると考えている。
		27	教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	○教育研究センターの管理運営を行った。 ・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。 ・教職員、学校、地域の連携を支援に努めた。	会議室使用延べ人数: 11,500人	会議室使用延べ人数: 10,800人	7,546	継続	今後も積極的な運用を促進していきたい。
給食センター	子どもたちが、安心して学べる、	20	学校給食の充実	学校給食管理事業	* JAなどの物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら地場産品、特に伊賀産を積極的に使用した。 * 児童の施設見学、保護者の試食会、学校を訪れ給食センターの業務を紹介しながら、学校給食を通しての食育を実施した。 * 毎月発行する「給食だより」では地元食材を紹介し、伊賀市ホームページには給食の献立盛付表を掲載するなど、家庭に学校給食を知ってもらった。 * 調理場から出るクズ、学校から戻る食べ残しを検量し、児童・生徒が食べ残さない給食を提供できるよう研究した。食育の授業では「残渣」について触れた。 * 生徒のリクエストメニューの提供やマスコットキャラクターの募集を実施してみた。	地場産食材(県内産・伊賀産)利用率(年間平均) 3センター平均 29.9% ・いがっこ給食センター夢:31.9% ・阿山給食センター:29.2% ・大山田給食センター:28.2%	地場産食材(県内産・伊賀産)利用率(年間平均) 3センター平均 30.0% ・いがっこ給食センター夢:30.0% ・阿山給食センター:30.0% ・大山田給食センター:30.0%	164,465	充実	地場産食材使用率は、前年度に比べ向上し、目標まで達したが、さらに努力する。 教育委員からも指導のあった生徒への「残渣」についての教育は引き続き力を入れていく。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
生涯学習課	ち生涯活動を通じ、生きがいを持	1	社会教育の推進	成人式開催経費	令和2年1月12日に新成人を祝う式典を中学校区別(9会場)を開催した。	進捗率100%	進捗率100%	1,508	継続	予定どおり開催し、遠方からの帰省者の参加につなげることができた。
		3	地域づくりの支援	生涯学習推進啓発事業	前年度に実施した地域における学びの交流会の中で、参加者から要望のありました地域の活動事例集の作成を進め、地区市民センターや関係各課へ冊子を配布し、地域間のネットワークづくりや情報共有に努めました。	参加者数:未実施	進捗率90%	56	継続	地域活動の充実のために市内全域の情報提供は必要である。また、定期的な情報の更新も検討する。
		4	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	教育集会所交流事業	* 伊賀市教育集会所小学生交流会「みんなよっといで!!」 * 伊賀市教育集会所中学生交流会 * 伊賀市教育集会所高校生・青年生人権学習交流会	参加者アンケートの満足度:100%	参加者アンケートの満足度:95%		継続	地域を越えて差別を許さない・差別をなくす仲間の輪を構築するために、差別がある限り継続する必要がある。
	部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	* 関係機関と連携し人権同和教育研究・推進活動を行いました。 * 地域の実情に応じた人権同和教育講演会・研究大会を実施しました。	参加者数:8,890人	参加者数:8,500人	7,040	継続	部落差別をはじめとする個別の人権課題解決に向けて、地域住民が自ら学ぶ機会として継続して行う必要がある。
					(いがまち) * 学校人権同和教育研究会補助等 * 小中学校交流会補助	12部会の開催回数:60回 開催回数:小学校4.5.6年中学校1.2.3年各1回 参加者数:417人	12部会の開催回数:60回 開催回数:小学校3.4.5年中学校1.2.3年各1回 参加者数:410人	85 247	継続	・家庭・地域と連携し、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指す人権・同和教育を推進する。 ・お互いの人権感覚を磨き、ともに部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていく力を身につける。
					(青山) * 同和教育推進協議会活動研修会等 * 同和問題講演会等 * 人権のつどい * 人権啓発地区別懇談会	開催回数:15回 開催回数:1回 参加者数:171人 開催回数:1回 参加者数:202人 開催回数:4回 参加者数:158人	開催回数:15回 開催回数:1回 参加者数:200人 開催回数:1回 参加者数:300人 開催回数:10回 参加者数:320人	—	継続	今後も他課との連携による継続実施を行う必要がある。
					同和問題啓発事業	(いがまち) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	開催回数:4回 参加者:2,456人 蔵書数:354冊 開催回数:0回 (新型コロナウイルスの為、開催中止)	開催回数:2回 参加者:500人 蔵書数:360冊 開催回数:1回 参加者数:70人	21	継続

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
生涯学習課	部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和問題啓発事業	(阿山) * 人権作文・ポスター展示 * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 人権同和問題学習講座	開催回数:1回 来館者数:600人 開催回数:11回 来館者数:6,800人 開催回数:1回 蔵書数:217冊 開催回数:3回 参加者数:355人	開催回数:1回 来館者数:600人 開催回数:12回 来館者数:6,000人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:4回 参加者数:500人	76	継続	人権同和問題学習講座についてはコロナウィルス感染防止による事業自粛による開催回数減であり、阿山人権同和教育研究協議会と連携し、地域ぐるみで同和問題啓発事業を実施できた。
					(大山田) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 文化講演会 * サークル団体等人権研修会	開催回数:12回 蔵書数:260冊 開催回数:0回 参加者数:0人 参加者数:0人	開催回数:12回 蔵書数:265冊 開催回数:1回 参加者数:50人 参加者数:40人	0	継続	講演会及び研修会については、コロナウィルス感染対策のため中止としたが、人権啓発のため今後も継続実施する。
					(青山) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	開催回数:7回 参加者数:1,400人 開催回数:5回 開催回数:2回 参加者数:100人	開催回数:12回 参加者数:4,000人 開催回数:4回 開催回数:2回 参加者数:85人	—	継続	幅広い年齢を対象に多様な人権への取り組みとして継続実施が必要である。
	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	教室後子ども推進事業	市内で3つの放課後子ども教室の活動支援を行った。伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会を8月1日(木)に開催した。	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計): 25人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計): 12人	1,858	継続	3つの放課後子ども教室に活動支援を行った。また、放課後子どもプラン施策検討委員会においては、福祉部局と連携し、委員の方々と課題等情報共有が出来た。
				青少年センター運営経費	○街頭補導活動:毎月4回の定時補導等を実施した。 ○青少年相談活動:市広報などを通して、電話や面談による青少年相談活動の周知を行った。 ○環境浄化活動:三重県任命立入調査員の協力を得て青少年にとって有害な環境点検のパトロールを実施し、コンビニエンスストア・書店・小売店へ出向き、低俗な広告物・有害玩具・不良環境などの排除への協力を求めた。	被補導少年数:7人	被補導少年数:20人	5,236	改善	青少年を取り巻く劣悪な社会状況をいち早く把握すると共に、関係機関、関係団体と連携し、補導活動等が必要な場所等を随時検討し、補導ルートなどの改善と対応を行った。今後も、状況にあわせた補導内容の検討・改善を行い、活動の充実を図る。
				青少年健全育成事業	○第12回「輝け! いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け! いがっ子憲章の周知・啓発を行った。 ○青少年健全育成推進大会(午前の部:人形劇/午後の部:講演会)を開催した。 ○伊賀市青少年育成市民連絡会議に対して青少年育成活動事業の補助をし、助成団体の特色を生かした事業(地域住民との交流・世代間交流・自然体験など)を支援した。 ○青少年健全育成市内一斉活動を実施した。 青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間および未成年者喫煙防止キャンペーン(11月) ○伊賀市青少年ネットワークづくり研修会、伊賀地区子どもわかもの育成支援のための支部研修会を開催した。	青少年健全育成推進大会参加者数 午前の部 人形劇 158人 午後の部 青少年講演会 191人	青少年健全育成推進大会(人形劇・講演会) 参加者数:200人	2,587	継続	青少年を取り巻く状況を把握し健全育成活動に取り組む体制が、各地区育成団体において形成されている。また、各種研修会への参加を通して、地区間の交流や情報交換ができた。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
生涯学習課	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	(いがまち) * 夏、冬の体験教室 * 小中学生下校時パトロール * 非行防止夏季夜間パトロール * 家庭教育講演会	開催回数:2回 参加者数:34人(夏季) 参加者数:92人(冬期) 開催回数:16回 参加者:41人 開催回数:0回 (新型コロナウイルスの為、開催中止)	開催回数:2回 参加者数:100人 開催回数:18回 開催回数:1回 参加者:50人 開催回数:1回 参加者数:50人	0	継続	青少年の自主・自立活動並びに社会体験活動を通して、社会参加の推進及び自立に向けた支援に努めます。
					(島ヶ原) * 青少年非行防止パトロール * 非行防止事業 * 体験型学習	開催回数:21回 参加者数:63人 開催回数:2回 参加者数:83人 開催回数:12回 参加者数:365人	開催回数:25回 参加者数:100人 開催回数:1回 参加者数:20人 開催回数:10回 参加者数:300人	-	継続	青少年の健全育成について地域の方々の関心も高く、協力していただき年々充実してきています。ただ、年度末に予定していた事業等については、新型コロナ等の影響により中止したのもあり残念でした。今後とも、地域社会との関わりを深め、豊かな心を育めるように努力していきたいと考えています。
					(阿山) * 青少年非行防止パトロール * 人づくり市民会議事業連携	開催回数:4回 参加者数:52人 開催回数:18回 参加者数:709人	開催回数:4回 参加者数:70人 開催回数:16回 参加者数:500人	-	継続	あやま人づくり市民会議と連携し、地域ぐるみで青少年健全育成事業が実施できた。
					(大山田) * むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数:7回	開催回数:8回	0	継続	地域の青少年育成のため、引き続きむらびとづくり推進会議と連携を深め、事業を推進していく。
					(青山) * 防犯ネットワーク会議 * 小中学校下校時パトロール * 青山青少年育成会議事業連携	開催回数:2回 開催回数:85回 開催回数:9回	開催回数:2回 開催回数:85回 開催回数:11回	-	継続	地域の各種団体との連携により実施していることが青少年の健全育成及び防犯につながっている。このため継続実施を行う必要がある。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	進捗率100%	進捗率100%	開催回数:17回 参加者数:800人	233	継続	新しい講座を取り入れ、若い世代の参加も見られた。
					初心者を対象にパソコン教室、タブレット教室を実施した。	進捗率90%	開催回数:10回 参加者数:100人	24	継続	公民館講座として学習ニーズがあり、男性の参加もあった。
					初めての講師サポート事業を実施し、2事業を採択した。	開催回数:4回 参加者数:33人	開催回数:15回 参加者数:130人	34	継続	新たな講師発掘やサークル活動への機会として実施した。
					ゆかた着付体験、天神祭におけるだんじり見学、お囃子体験を開催した。	開催回数:4回 参加者数:66人	開催回数:3回 参加者数:45人	83	継続	小学生と保護者を対象に体験学習に取り組めた。
					子の春展として、子どもを対象とした絵画と一般対象の絵馬の作品を募集し、期間中の掲載に努めた。	参加者数:217人	参加者数:200人	105	継続	歴史のある取り組みであり、正月行事として継続していく。
					サークルまつり	サークル数:21 (中止)	サークル数:22	12	継続	コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
					公民館サークルの育成を行った。	回数:2回	回数:2回	0	継続	サークル活動の場として継続した支援が必要。
					上野公民館分館活動事業を21分館へ委託した。	分館数:21 事業数:185	分館数:21 事業数:46	6,007	継続	分館廃止後も生涯学習活動の推進が必要であり、継続して支援する。
					ふるさと学習事業	開催回数:6回 参加者数:149人	開催回数:6回 参加者数:110人	100	継続	青少年健全育成の観点から、継続実施が必要である。
					青少年健全育成事業	開催回数:7回 参加者数:1480人	開催回数:5回 参加者数:600人	1,508	継続	青少年健全育成の観点から、継続実施が必要である。
					公民館一般講座	開催回数:35回 参加者数:729人	開催回数:36回 参加者数:700人	198	継続	教室や講座内容の充実を図るとともに世代間の交流にも努めます。
					公民館子ども講座	開催回数:12回 参加者数:170人	開催回数:12回 参加者数:300人	71	継続	子どもの健やかな成長と色々なことに挑戦する好奇心を育てる教室を実施します。
					読み聞かせ会	開催回数:25回 参加者数:420人	開催回数:30回 参加者数:600人	13	継続	読み聞かせを通して読書習慣をもってもらい、想像力豊かな子どもの育成に努めます。
					やまなみ文化協会育成	回数:2回	回数:2回	200	継続	サークル団体への支援を通して、次世代につなげるための人材育成を図ります。
					やまなみ文化祭	開催回数:1回 参加団体:11団体	開催回数:1回 参加団体:13団体	80	継続	文化祭を通して、学習成果の発表の場の提供に努めます。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	いがまち公民館	いがまち展覧会	開催回数:1回 出展者数:775人	開催回数:1回 出展者数:800人	20	継続	展覧会を通して、各種団体、区、協会、老人クラブ等の作品発表の場の提供に努めます。	
					いがまち分館(柘植公民館)活動事業	分館数:1 開催回数:0	分館数:1 開催回数:0	0	廃止	令和2年3月末日をもって、分館機能は廃止となりました。	
				島ヶ原公民館	公民館一般講座	開催回数:25回 参加者数:334人	開催回数:26回 参加者数:350人	208	継続	生涯学習の場を提供することにより、生き生きとした活動や取り組みができています。	
					絵本の読み聞かせ教室	開催回数:21回 参加者数:839人	開催回数:20回 参加者数:600人	45	継続	親と子が心のふれあいを深めたり、読書の楽しさを知る機会となっている。	
					文化サークルまつり演芸会	開催回数:1回 参加者数:130人	開催回数:1回 参加者数:100人	33	継続	日頃の練習結果を発表することにより、活動への意欲や生きがいに結びついている。	
					文化作品まつり展覧会	開催回数:1回 参加者数:606人	開催回数:1回 参加者数:600人	56	継続	日頃取り組んでいる作品や成果を展示する事により、創作意欲や生きがいに繋がっている。	
					公民館サークルの育成	回数:3回	回数:3回	112	継続	地域の方やサークル協議会の方のご意見を聞きながら充実した活動ができるようサポートしている。	
					阿山公民館	公民館一般講座	開催回数:6回 参加者数:106人	開催回数:6回 参加者数:80人	32	継続	講座・教室については概ね住民のニーズのある内容で実施できたが、年度末にコロナウイルス対策のイベント自粛で一部の事業が実施できなかった。展覧会で住民間の文化交流を図ることができた。
				こども対象講座		開催回数:32回 参加者数:560人	開催回数:33回 参加者数:400人	183	継続		
				あやま芸能まつり		開催回数:0日 参加者数:0人	開催回数:1日 参加者数:450人	—	継続		
				あやま展覧会		開催回数:3日 参加者数:1,038人	開催回数:3日 参加者数:1,200人	9	継続		
				公民館サークルの育成		回数:8回	回数:8回	191	継続		
				読み聞かせ会		開催回数:22回 参加者数:79人	開催回数:24回 参加者数:110人	15	継続		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	大山田公民館	公民館一般講座	開催回数:23回 参加者数:339人	開催回数:15回 参加者数:250人	50	継続	市民のニーズに応じた教室を継続実施する。
						子ども対象講座	開催回数:13回 参加者数:222人	開催回数:14回 参加者数:210人	36	継続	市民のニーズに応じた教室を継続実施する。
						リズム運動教室(園児対象)	開催回数:6回 参加者数:234人	開催回数:6回 参加者数:228人	54	継続	心身の発達のため、大山田保育園年長児を対象に継続実施する。
						サークルの育成	回数:4回	回数:3回	0	継続	引き続き各サークル活動を活性化できるよう育成指導する。
						芸術文化祭(芸能大会)	開催回数:1回 参加団体:6団体	参加団体数:8団体	165	継続	高齢化により活動停止した団体があったことに減少した。
						芸術文化祭(展覧会)	開催回数:1回 出展者数:750人	出展者数:900人	0	継続	高齢化により活動停止した団体が増加したことに減少した。
						読み聞かせ会(図書室)	開催回数:21回 参加者数:209人	開催回数:24回 参加者数:230人	30	継続	台風接近による中止や、コロナウイルス感染対策のため開催回数減少した。
						読み聞かせ会(大山田小学校)	開催回数:30回 参加者数:1,218人	開催回数:42回 参加者数:1,700人	20	継続	1,2年生合同で読み聞かせを行なったことや、コロナウイルス感染対策のため開催回数減少した。
						読み聞かせ会(子育て支援センター他)	開催回数:3回 参加者数:120人	開催回数:5回 参加者数:145人	0	継続	コロナウイルス感染対策のため開催回数減少した。
					青山公民館	まなびあおやま(一般)講座	開催回数:22回 参加者数:365人	開催回数:18回 参加者数:270人	72	継続	地域の方が生き生きと過ごせるよう取り組みを継続することが必要である。
						まなびあおやま(こども)講座	開催回数:6回 参加者数:216人	開催回数:7回 参加者数:230人	37	継続	子どもたちが日ごろ経験できない様々な体験を提供していくことが大切である。
						図書室公開講座『おはなし広場』	開催回数:7回 参加者数:331人	開催回数:6回 参加者数:450人	35	継続	図書室での公開講座を通して読書をはじめ学ぶことの楽しさを提供することが大切である。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	公民館事業経費	青山公民館	地域芸術向上支援事業	開催回数:4回 参加者数:142人	開催回数:5回 参加者数:290人	50	継続	地域で芸術等に取り組む活動を支援することで地域の芸術力を高め活動する市民を増やすことにつながっている。
						地域学習講座(青少年育成)	開催回数:3回 参加者数:420人	開催回数:5回 参加者数:330人	106	継続	地域の伝統・文化等を体験し学ぶことで郷土の良さを知ることができる。また、継承につながる。
						読み聞かせ会(青山図書室)	開催回数:14回 参加者数:439人	開催回数:19回 参加者数:380人	0	継続	図書室での読み聞かせを通して読書への関心を高めることができる。
						読み聞かせ会(青山小学校等)	開催回数:51回 参加者数:1,259人	開催回数:41回 参加者数:1,120人	7	継続	小学校等に出向いて読み聞かせを行うことで図書室に来る機会がない子どもや保護者に読書の楽しさを伝えることができる。
						文化サークル連協芸能発表会	開催回数:1回 参加者数:400人	開催回数:1回 参加者数:400人	70	継続	日ごろの活動の発表の場を提供することで生涯学習への市民の取り組み意欲を高めることができている。
						ふるさと美術文化展覧会	開催回数:1回 参加者数:408人	開催回数:1回 参加者数:350人	17	継続	日ごろの活動の発表の場を提供することで生涯学習への市民の取り組み意欲を高めることができている。
						公民館サークルの育成	回数:18回	回数:4回	0	継続	講師としてサークルを活用したり共催事業を行うことで生涯学習への市民の取り組み意欲を高めることができている。
						青山分館活動事業	分館数:6 事業数:48	分館数:6 事業数:48	1,196	継続	各地域での取り組み事業を共有・支援を行うことで切磋琢磨した取り組みが出来ている。

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指 標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校区ヒューマンフェスタ) 崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の一体となった人権同和教育を推進した。崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタを開催した。(崇広中学校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会に委託)	進捗率100%	進捗率100%	380	継続	崇広中学校校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の一体となった人権同和教育を推進した。校区において人権意識を高めることが出来て非常に意義のあるイベントであると考えています。	
					* 人権同和教育相談事業 人権同和教育の推進と併せて、保護者からの相談の機会として開設し、対応した。(各集会所では随時対応)	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:9人	進捗率90%				
					* 中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート 幅広い市民への人権同和教育並びに人権啓発の推進として、中瀬ふれあい夏祭りにおいて、人権トーク&コンサートを開催した。 * 寺田フィールドワーク 地域や保育士・教職員などの要望に応じて、地区内のフィールドワークを実施することにより、差別の不合理さや差別をなくすために行動する人たちの思いに触れる中で、人権意識の向上をめざした。 * 小中人権同和教育講演会 中瀬小学校・城東中学校のPTAと共催し、児童・生徒・保護者・地域住民などを対象とした、観劇会・講演会を開催した。	(寺田) 開催回数:6回 参加者数:1093人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:1,400人	継続	担当教職員との事前の打ち合わせにより、対象児童・生徒の現状等を的確に把握し、より効果的なものになるよう、内容等も工夫しながら、実施していく。		
					* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会 城東中学校区小学校3・6年生、城東中学校1年生の人権・部落問題学習の中での教育集会所・市民館訪問に対応した。	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:547人	(寺田) 開催回数:9回 参加者数:540人			継続	積極的に、地域内の保護者や保育園、小・中学校、高校と連携し、人権同和教育を推進することができたと考え。今後も、継続して実施していく。
					* 寺田教育を考える母(保護者)の会 部落差別に負けない、許さない子どもの育成と学力保障を実現するため、課題解決に向けた部落問題学習や懇談会を実施し、保護者同士、また、保護者と保育士・教職員とのつながりを深めた。 * 保小中高連絡会 保・小・中・高の保育士・教職員と寺田教育集会所が、地区児童・生徒の現状や課題、部落問題について、共通認識を持ち、連携をとりながら課題解決を図ることができるよう、月1回のペースで、連絡会を開催した。 * 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会 地域内の保育園・小学校・中学校と部落解放同盟寺田支部、寺田教育集会所が、地区児童・生徒の現状や課題、人権同和教育の推進について、共通認識を持つため、懇談会を開催した。	(寺田) 開催回数:29回 参加者数:374人	(寺田) 開催回数:25回 参加者数:450人	継続			

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	教育集会所事業経費	* 柘植中学校校区連絡会議	(前川) 開催回数:10回 参加者数:129人	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	0	継続	児童・生徒の生活や学習に関わる情報を保小中高で共有し、同和教育の充実を図るために継続して実施する。	
				* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:95人	(奥馬野) 開催回数:3回 参加者数:90人	0	継続	子どもたちの実態をふまえ、保育園、小中学校で懇談会を実施し、解放保育・人権教育を充実しました。	
				* 青山学校同和教育推進委員会	(老川) 開催数:年9回 延べ参加者数:90人	(老川) 開催数:年11回 延べ参加者数:110人	6	継続	管内の保小中の子ども様子が分かり、校種間でつながることができた。今後も必要な取り組みである。	
				* 保小中同和教育実践交流会	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:102人	(老川) 開催数:年5回 延べ参加者数:95人	8	継続	管内の保小中の教職員の人権意識の向上の一助となり、人権教育の周知につなげることができた。	
				* 推進委員会 * 実践報告書作成 * 推進委員会だより発行	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	(老川) 開催数:年1回 参加者数:7人 発行:年1回 発行:年3回	190	継続	管内住民に学校人権同和教育の周知の一助となっており、継続する必要がある。	
			人権教育推進事業	* 生活講座、識字教室 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品製作を通じて行った。	(八幡) 識字教室 開催回数:43回 参加者数:212人	(八幡) 識字教室 開催回数:43回 参加者数:230人	130	継続	部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくす啓発活動を共同作品製作を通じて行った。参加者同士が共同作品を製作することでより繋がりのある活動になっている。	
					(前川) 開催回数:83回 参加者数:794人	(前川) 開催回数:90回 参加者数:1100人	875	継続	差別の結果による非識字を解消するために識字活動を継続して実施する。	
					(奥馬野) 開催回数:37回 参加者数:266人	(奥馬野) 開催回数:37回 参加者数:270人	217	継続	* 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や、差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品を通じて行いました。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	(老川) ・生活講座 開催数:年19回 延べ加者数 128人 ・識字教室 開催数:年22回 延べ加者数 120人 ・パソコン教室 開催数:年18回 延べ参加者数 93人	(老川) ・生活講座 開催数:年20回 延べ加者数 110人 ・識字教室 開催数:年22回 延べ参加者数 100人 ・パソコン教室 開催数:年22回 延べ参加者数 95人	33	継続	地域住民の生きがいのある生活につながっており、継続する必要がある。	
					(八幡) 開催回数:28回 参加者数:925人	(八幡) 開催回数:28回 参加者数:1000人	30	継続	差別を許さない仲間づくりを進める中で、人権感覚豊かな子ども達の育成が図れている。	
					(寺田) 開催回数:26回 参加者数:849人 (寺田教科学習会) 開催回数:28回 参加者数:196人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:66回 参加者数:759人 (寺田絵本読み聞かせ会) 開催回数:なし 参加者数:一人	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:1,000人 (寺田教科学習会) 開催回数:25回 参加者数:200人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:65回 参加者数:750人 (寺田絵本読み聞かせ会) 開催回数:1回 参加者数:15人	125	継続	地域探検などのふれあい活動を通して、学力保障とともに、生活体験を増やす活動を実施した。少子化により、地域の児童が減少する中、今後も、差別をなくしていく仲間として団結していくことができるよう、事業を計画、継続して実施していく必要がある。	
					(下郡) 開催回数:38回 参加者数:356人	(下郡) 開催回数:37回 参加者数:512人	-	継続	地区内対象者の減少する中、他地区の児童も含めて実施することで、新たな交流と学習が備わった。	
					(前川) 開催回数:39回 参加者数:1,409人	(前川) 開催回数:30回 参加者数:1,200人	293	継続	部落差別を見抜き、差別をなくす仲間づくりを進める学習を実施する。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	(奥馬野) 開催回数:31回 参加者数:783人 (ライトピア子ども会) 開催回数:9回 参加者数:110人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:800人 (ライトピア子ども会) 開催回数:10回 参加者数:120人	奥馬野 536 子ども会 165	継続	【小学校地区学習会】 * 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権感覚を持った仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めました。 【ライトピア解放学習会】 * 事業は奥馬野・中馬野・坂下地域の小学生およびその保護者が対象である。地域のつながりを深め、夏休み・冬休みには学習会を実施し学力の補充を行い、児童と保護者が参加できる体験活動を通じて仲間づくりや交流を進めました。	
					(八幡) 中学生地区学習会 開催回数:33回 参加者数:403人 高校生等学習会 開催回数:50回 参加者数:758人	(八幡) 中学生地区学習会 開催回数:40回 参加者数:600人 高校生等学習会 開催回数:50回 参加者数:800人	110	継続	将来の展望を持ち、仲間とともに自己実現を図っていく学習会を開催した。中学生の学力向上と人権意識の向上や高校生等の差別を許さない仲間づくりに寄与している。	
					(下郡) 開催回数:30回 参加者数:159人 (下郡高校生友の会) 開催回数:10回 参加者数:19人	(下郡) 開催回数:33回 参加者数:575人 (下郡高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:50人	-	継続	・地区内対象者の減少する中、他地区の生徒も含めて実施することで、新たな交流と学習が備わった。 ・友の会は、高校生・社会人も少なく、募集をしたものの参加の向上に至っていない。窓口として残し、対象者への案内も続けていく。	
					* 中学生地区学習会、高校生・青年友の会 部落差別をはじめあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶ事で誇りに思い、差別を見抜き、自分達で活動する大切さを学習することができた。	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:433人 (寺田教科学習会) 開催回数:31回 参加者数:376人 (寺田高校生友の会) 開催回数:15回 参加者数:65人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:2回 参加者数:90人	(寺田) 開催回数:36回 参加者数:450人 (寺田教科学習会) 開催回数:47回 参加者数:350人 (寺田高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:30人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数:4回 参加者数:100人	315	継続	児童・生徒・青年の縦のつながりを深めることを意識して、事業を実施した。少子高齢化により、地域の児童・生徒・青年が減少する中、今後も、差別をなくしていく仲間として団結し、活動のリーダーとなっていくことができるよう、事業を計画、継続して実施していく必要がある。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	(前川) 開催回数:71回 参加者数:1,282人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:2回 参加者数:51人	(前川) 開催回数:90回 参加者数:1,400人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数:3回 参加者数:90人	599	継続	部落差別の解消を目指し、行動に移せる生徒を育てる学習を実施する。また、差別解消に取り組んでいる青年層と次の世代(中・高)との交流を深める。	
					(奥馬野) 開催回数:28回 参加者数:527人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数:8回 参加者数:55人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:600人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数:8回 参加者数:60人	奥馬野 332 学習会 28	継続	【中学校地区学習会】 * 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権感覚を持った仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めました。 【中学生高校生学習会】 * 夏休み・冬休み・春休みを利用して、確かな学力を身につけ進路を保障していくために、課題や復習問題に取り組む機会を提供しました。地域在住の先輩や大学生等に講師を依頼することで、勉強だけではなく将来のキャリアデザインを描くアドバイスも行っております。	
					* 人権教育講演会、学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて、地域における人権同和教育をすすめるために、様々な機会をとらえて人権同和问题に対する講演会や学習会を行った。	(八幡 人権講演会) 開催回数:1回 参加者数:98人	(八幡 人権講演会) 開催回数:2回 参加者数:180人	30	継続	奨学金の意義を奨学生と保護者、学校関係者に対して深く周知することができる。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:2回 参加者数:54人 展示会5日間 延べ200人の参加 (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:110人 (上野南中学校区学習会) 開催回数:1回 参加者数:275人 (高齢者人権教養講座) 開催回数:1回 参加者数:60人	(下郡人権と平和学習会) 開催回数:2回 参加者数:50人 (依那古草の根会議) 開催回数:1回 参加者数:200人 (上野南中学校区学習会) 開催回数:1回 参加者数:100人 (下郡老人クラブ学習会) 開催回数:1回 参加者数:60人	38	継続	他の団体と連携して実施できたことは、よい啓発に結びついている。今後においても効果的な内容の講演会・学習会を提供し、人権教育推進事業として取り組みを図る。	
					(前川 特別解放講座) 開催回数:1回 参加者数:72人	(前川 特別解放講座) 開催回数:1回 参加者数:100人	50	継続	部落差別をなくす活動を広く伝える場として継続して実施する。	
					(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数:171人	(老川) 開催数:年3回 延べ参加者数:200人	55	継続	人権同和教育の推進の一助となっており、継続の必要がある。	

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指 標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
文化財課	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 2 3 郷埋文 土蔵化 の文化 文化財 遺産の 保護と 活用 の保護 と活用 の収集 ・保存 及び 活用	文化財保存経費	* 文化財保護審議会(3回)、文化財保護指導委員会(1回)を開催し、2件を新たに文化財として指定した。 * 指定文化財の調査・管理、史跡の草刈など環境整備事業を実施した。 * 指定文化財の保存修理に補助金を支出した。 * オオサンショウウオをはじめ天然記念物の保護に努めた。 * 指定文化財の説明看板を1ヶ所設置した。 * 書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。	進捗率100%	進捗率100%	5,380	継続	県内最多の指定文化財が所在する当市では、文化財の適切な保護・保存と、周知に努めている。	
				* 県指定文化財春日神社拝殿の解体修理事業(解体・埋蔵文化財調査・耐震基礎工事・木工事)を助言・指導・監督した。	工事進捗率53%	進捗率90%	8,570	継続	事業主体である春日神社と連携し、適切に修理事業を進めた。	
				* 国重要無形民俗文化財上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業(東町楼車・福居町楼車)を助言・指導・監督した。	事業進捗率(東町)100% (福居町)20%	事業進捗率(東町)100% (福居町)20%	4,360	継続	事業主体である上野文化美術保存会と連携し、適切に修理事業を進めた。	
				* 国重要文化財猪田神社本殿の保存修理事業(屋根葺き替え)を助言・指導・監督した。	工事進捗率100%	工事進捗率100%	641	完了	事業主体である猪田神社と連携し、適切に修理事業を行った。	
			文化財施設維持管理経費	* 直営2館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。	入館者数 12.30人/日	入館者数 13.40人/日	23,600	継続	文化財施設の周知に努めるとともに、指定管理者である伊賀市文化都市協会と連携し、入館者を増やすよう努めた。	
			埋蔵文化財発掘調査経費	* 対象となる民間・公共の開発事業に対し協議を進め、適宜試掘調査・立会調査を行った。	試掘調査件数 18件 立会調査件数 19件	試掘調査件数 5件 立会調査件数 5件	0	継続	開発事業に対し、埋蔵文化財包蔵地の照会を行い、遺跡地に該当する場合は、調査を進め文化財保護に努めた。	
			上野城高石垣計測事業	* 上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。	測量実施地点数 6点	測量実施地点数 11点	220	継続	石垣崩落の危険性を把握できるよう努めた。	
			伊賀国庁跡保存整備事業	* 史跡公園としての整備を図るため、史跡伊賀国庁跡保存整備事業実施設計検討委員会(2回)を開催し、実施設計を策定した。	史跡整備 進捗率:37%	史跡整備 進捗率:37%	6,847	継続	史跡整備を具体化するための実施設計を策定することができた。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1	市民の学習活動の支援	図書館管理経費 図書室管理運営経費 ・図書館の利用促進	* 市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。 * 伊賀地区学校図書館協議会主催の、高校生ビブリオバトル大会で紹介した人気本を展示し、中高生の読書推進に努めた。 * 忍者月間には「忍者図書館」として、忍者特集や特別企画展示を行い利用促進に努めた。	進捗率100%	進捗率100%	93,736			
						上野:62,046人	進捗率90%	90,128	充実	市民ニーズに添った学習機会やサービスを提供する必要がある。	
						いがまち:2,940人	いがまち:3,200人	484	継続	利用促進を図るとともに、地域住民に親しまれる図書室運営を目指します。	
						島ヶ原:326人	島ヶ原:400人	101	継続	より多くの人に利用周知する必要がある。	
						阿山:2,311人	阿山:3,000人	370	継続	図書室利用者及び貸出数ば、年度末のコロナウイルス対策による休館で減少したが、事業については概ね住民ニーズを考慮し実施できた。	
						大山田:3,281人	大山田:3,800人	346	継続	コロナウイルス感染対策のため3月図書館が休館となったため貸出利用者数が減った。	
						青山:3,726人	青山:4,100人	2,308	継続	2年後に控えている青山支所周辺施設との複合化に向け調整を行っている。	
	2	利用者サービスの充実	・図書の貸出	* 市広報・図書室だより・分館の図書室広報誌等で、新着図書、おすすめ図書の紹介や催し物等開催について情報発信する中で利用促進に繋げた。 * 図書館情報システム連携により、各図書館間や三重県立図書館等との相互貸借貸出等、利便性の向上を図った。 * 地域の特性を活かした図書室運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。 * 校長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小学校へのセット文庫の定期配送サービスを開始し、学校図書館支援を行った。 * 上野点字図書館の録音図書の取次貸出サービスを開始した。	貸出冊数計 284,359冊 (内児童書 121,850冊)	貸出冊数計 308,900冊 (内児童書 120,300冊)					
					上野:242,053冊 (内児童書 99,010冊)	上野:270,000冊 (内児童書 100,000冊)		充実	新刊図書購入及び学校図書館支援の充実を図る必要がある。		
					いがまち:10,329冊 (内児童書 6,120冊)	いがまち:12,000冊 (内児童書 4,000冊)		継続	地域の利用者に向けた情報提供を行い、貸出サービスの推進を図ります。		
					島ヶ原:758冊 (内児童書 397冊)	島ヶ原:800冊 (内児童書 300冊)		継続	インターネット等も活用した予約サービスの利用も周知する必要がある。		
					阿山:9,148冊 (内児童書 5,019冊)	阿山:11,000冊 (内児童書 3,500冊)		継続	コロナウイルス感染対策で休館したため貸出冊数が減少したが、概ね目標は達成できた。		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見		
					2019年度実績値	2019年度目標値						
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	2	利用者サービスの充実	・図書の貸出		大山田:11,386冊 (内児童書 6,657冊)	大山田:12,500冊 (内児童書 7,000冊)		継続	コロナウイルス感染対策のため3月図書館が休館となったため貸出冊数が減った。		
						青山:10,685冊 (内児童書 4,647冊)	青山:12,500冊 (内児童書 5,500冊)		継続	図書室内での講座や関係事業を実施し図書室の存在をPRし読書活動推進に取り組んでいる。		
			・図書配送サービス	* 図書館情報システムの連携及び定期的な配送サービスにより、身近な地域で市内各図書館所蔵資料を受け取れる等、利便性の向上を図った。 * 市内小学校へセット文庫を配送するとともに団体貸出を活用することにより、児童の図書利用促進を図った。	配送書籍数計 21,812冊	配送書籍数計 25,500冊						
					上野:7,684冊	上野:10,000冊		継続	相互貸借の活用及び学校図書館との配送サービスを継続実施する必要がある。			
					いがまち:3,922冊	いがまち:4,600冊		継続	他の図書室との連携強化を図りサービス向上に努めます。			
					島ヶ原:758冊	島ヶ原:900冊		継続	配送サービスの周知をする必要がある。			
					阿山:3,080冊	阿山:3,500冊		継続	継続して配送サービスを実施する。			
					大山田:3,983冊	大山田:3,700冊		継続	ネットサービス等利用し他館からの図書配送が増えた。			
		青山:2,385冊	青山:2,800冊		継続	配送サービス活用のPRを継続して行っている。						
		3	読書活動の支援と充実	・読み聞かせ会等の実施	* 図書館(図書室)において、市内の各ボランティアグループの協力を得て、子どもが本に親しむ機会をつくるため、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を実施した。 * 学校などへ出向きブックトークや読み聞かせ会を実施するほか、伊賀鉄道と連携し「おはなしでんしゃ」を発車したり、他団体と連携し読み聞かせ事業を行うことにより、児童への図書利用促進を図った。 * 同じ題名の各国の絵本を活用して、多言語での読み聞かせ会を開催し、言語・文化的な多様性に触れる機会をつくった。	開催数計 233回	開催数計300回					
						上野:50回	上野:80回		継続	各ボランティアグループや地域の団体と連携し、継続実施する。		
						いがまち:30回	いがまち:30回		継続	読み聞かせ会等を通して読書習慣をもってもらい、想像力豊かな子どもの育成に努めます。		
						島ヶ原:20回	島ヶ原:21回		継続	引き続きボランティアグループの協力を得て、子どもや高齢者への読み聞かせ会を開催する必要がある。		
						阿山:22回	阿山:24回		継続	継続して実施するが、参加人数が少ないため、学校等への出前読み聞かせも考えていきたい。		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					2019年度実績値	2019年度目標値					
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3	読書活動の支援と充実	・読み聞かせ会等の実施 ・特集コーナーの設置 ＊「郷土の歴史夜咄会」を開催し、伊賀の歴史を学ぶ機会を提供するとともに、関連資料の歴史企画展示を行うことにより、伊賀の歴史への関心を高めた。 ＊市民ニーズや時事情報を参考にテーマを決め、関連資料特集コーナーを設け利用促進に努めた。	大山田:51回	大山田:65回		継続	コロナウイルス感染対策のため、読み聞かせ会等が減った。		
					青山:51回	青山:80回		継続	ボランティアグループや各団体と連携し、継続実施している。		
					特集実施計 130回	特集実施数計 126回					
					上野:38回	上野:40回		充実	時事情報や市民ニーズをタイムリーに把握しつつ、関連図書資料を充実する必要がある。		
					いがまち:14回	いがまち:20回		継続	市民の読書への関心を高めるため、読書週間や季節に合った本、趣味のコーナーを設置し、情報発信します。		
					島ヶ原:2回	島ヶ原:13回		継続	定期的に準新刊図書を入れ替え、利用促進に繋げる必要がある。		
					阿山:24回	阿山:12回		継続	ニーズにあった特設コーナーを継続する。		
					大山田:27回	大山田:20回		継続	上野図書館から図書を一時借入し、特集コーナーを新設した。		
					青山:25回	青山:21回		継続	地域と環境に応じた実施を継続していく。		
					読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	＊読書感想文コンクールを実施し、特に児童の読書推進に努めた。	応募数:327点	応募数:350点		継続	読書により感じたことを活字にする取り組みは、継続実施する必要がある。
		4	資料の収集と活用	・資料の収集と活用 ＊市民からのリクエストや司書が選書した新刊図書などを購入し、資料の充実を図った。 ＊古文献整理調査やレファレンス(調べもの相談)に取り組むとともに古文献の翻刻出版として『伊賀考』を発刊した。	図書購入冊数 計7,196冊	図書購入冊数 計7,970冊					
					上野:6,054冊	上野:7,000冊		継続	市民ニーズや時事情報を把握し、効果的かつ効率的な資料収集に努める必要がある。		

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (2019年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					2019年度実績値	2019年度目標値				
図書館	生涯を通じ、活躍できる生きがいを持ち	4	資料の収集と活用の推進	資料の収集と活用	いがまち:326冊	いがまち:300冊		継続	利用者のニーズを反映した様々な分野の資料の収集に努めます。	
					島ヶ原:18冊	島ヶ原:20冊		継続	他館から要望に添った図書資料を取り寄せることができるようサポートしたい。	
					阿山:298冊	阿山:200冊		継続	新刊図書の購入等により、資料を充実することができた。	
					大山田:299冊	大山田:250冊		継続	図書購入予算等の減少や図書本の高騰ため、購入冊数が減った。	
					青山:201冊	青山:200冊		縮小	移転に向けて蔵書冊数の減冊に伴い、予算の減額及び購入冊数を縮小。	